

令和発祥の地

# 太宰府



太宰府天満宮

太宰府天満宮は、菅原道真を祀る霊廟です。901年に無実の罪によって太宰府に左遷された道真は、2年後にこの地で亡くなりました。埋葬のために亡骸を運んでいた御車の牛が突然動かなくなり、不思議に思った人々はその場所を墓所とし、その上に社殿が造られたといわれています。境内は梅・樟・花菖蒲などが四季を彩り、悠久の歴史をしのぼせる様々な神事が今も受け継がれています。



坂本八幡宮

もとは戦国時代の勧進と伝えられている神社で、祭神は応神天皇。坂本地区の守り神として、地元の方々によって大切に祀られてきました。



戒壇院

戒律(僧が守るべき道徳規範や集団規則)を日本に伝えた唐僧・鑑真は、観世音寺にて日本で初めての授戒を行いました。戒壇院は761年、観世音寺に西海道の授戒の場(日本三戒壇のひとつ)として設けられました。



大宰府政庁跡

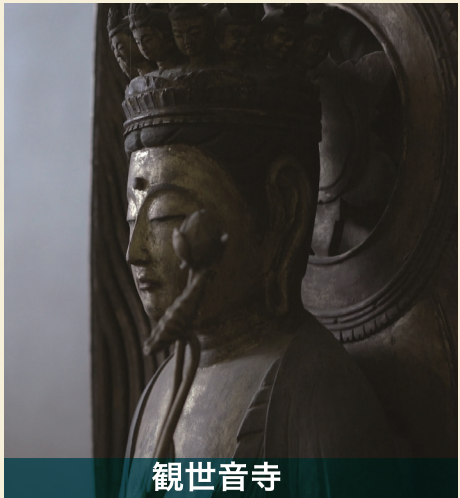
「都府楼跡」の名でも親しまれる、7世紀後半から12世紀前半にかけて、地方最大の役所「大宰府」が置かれた場所。九州全体の政治の中心であり外国との外交施設としても機能しました。大きな礎石は当時立派な建物があつたことを物語り、周辺の景観は古代の面影も残しています。大伴旅人が長官として執務し、菅原道真も漢詩に詠んだ当時の壮観なすがたを、ぜひVRアプリでご覧ください。



大宰府展示館

大宰府跡の調査で見つかった遺構を保存・公開している施設。「梅花の宴」ジオラマや大伴旅人の博多人形はここで見るができます。市内の歴史に詳しい史跡解説員ボランティアも充実しています。  
・月曜休刊 9:00~16:00/092-922-7811

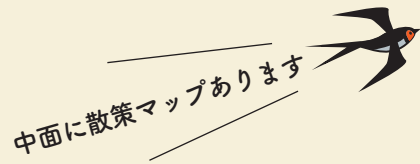
天智天皇が母・斉明天皇の供養に発願した寺院で、西海道(九州)の仏教寺院の頂点となる大寺院でした。宝蔵に収蔵された古代九州を代表する文化財・仏教美術は必見です。現地ではVRでもご覧いただけます。



観世音寺

お問い合わせ：太宰府市観光推進課 ☎092-921-2121

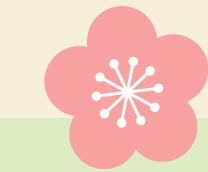
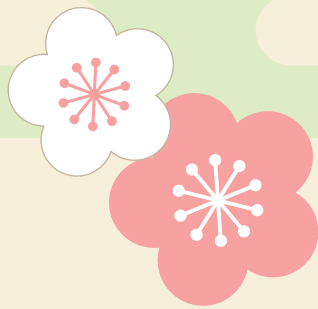
太宰府市公式ホームページ：http://www.city.dazaifu.lg.jp/  
太宰府観光協会ホームページ：https://www.dazaifu.org/



蘭は珮後の香を薫ず  
梅は鏡前の粉を披き

気淑く風和ぎ

初春の令月にして



## 大伴旅人邸はどこ？

「梅花の宴」が開かれた大伴旅人の邸宅については、いくつか推定地があり未だ特定はされていません。跡地の候補としては、大宰府展示館東側の月山東地区官衙、大宰府条坊の中、大宰府政庁跡北西に位置する坂本八幡宮一帯などです。このようなことから、坂本八幡宮は「令和」ゆかりの神社として親しまれています。

「梅花の宴」が開かれた大伴旅人の邸宅については、いくつか推定地があり未だ特定はされていません。跡地の候補としては、大宰府展示館東側の月山東地区官衙、大宰府条坊の中、大宰府政庁跡北西に位置する坂本八幡宮一帯などです。このようなことから、坂本八幡宮は「令和」ゆかりの神社として親しまれています。

## 古代日本の「西の都」

今から約1300年前、太宰帥(太宰府の長官)として赴任してきた大伴旅人により、当時中国から渡来した非常に高貴な花であった梅の花を主題に、和歌を詠みかわす宴がここ太宰府の地で開かれました。この「梅花の宴」で歌われた歌は日本最古の歌集『万葉集』に収められ、その序文を引用して、元号「令和」は定められました。「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という新しい元号の願いは、当時の大宰府で開かれた春の宴を思い起こさせます。

